

中小企業景況調査報告書

令和 6 年度

第 2 回 (令和6年7月~9月期)



岡山県商工会連合会

調査要領

1 調査方法

下記調査対象商工会地区の該当企業を経営指導員が直接訪問して調査した。

2 調査時期

令和6年7月～9月期の実績（9月は見込）及び令和6年10月～12月期の見通しを対象としたこの調査は、令和6年9月1日時点で実施した。

3 調査対象

《商工会別等の区分》

商工会名	産業別、人口規模別市町村類型別内訳	企業数	業種別企業数			
			製造業	建設業	小売業	サービス業
岡山北	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	3	3	4	5
岡山西	〃	15	3	3	4	5
岡山南	〃	15	4	2	6	3
瀬戸内市	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	3	4	4
つくば	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	4	2	5	4
総社吉備路	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	3	4	4
真備船穂	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	3	3	5	4
備中西	地域産業・人口1～3万人の地区郡部	15	4	2	4	5
備北	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	2	6	3
真庭	〃	15	3	3	4	5
久米郡	地域産業・人口1～3万人の地区郡部	15	3	2	4	6
鏡野町	〃	15	2	2	5	6
合計	12商工会	180	41	30	55	54

4 DIとは

DIとはディフュージョン・インデックスの略で、企業経営者の景気動向を表す指標のことである。算出方法は増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いて計算する。DIがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）となるが、商品仕入、販売などの単価の場合は、プラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となる。

例えば、売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合は、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、売上高に対して強気（楽観）の度合いを表している。

また、商品仕入単価で上昇企業20%、不変企業30%、低下企業50%の場合は $DI = 20 - 50 = -30$ となり、商品仕入単価に対して低下気運の度合いを表している。

目 次

	頁
1 産業全体の景況概況	2
(1) 産業全体の業況	2
(2) 業種別の景況概要	2
(3) 主要4項目及び業況判断D Iの推移	4
2 製造業の景況	6
(1) 主要項目の動き	6
(2) 主要3項目の状況	7
(3) 経営上の問題点の状況	8
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	8
(5) 主要景況項目の概況	9
3 建設業の景況	10
(1) 主要項目の動き	10
(2) 主要3項目の状況	11
(3) 経営上の問題点の状況	12
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	12
(5) 主要景況項目の概況	13
4 小売業の景況	14
(1) 主要項目の動き	14
(2) 主要3項目の状況	15
(3) 経営上の問題点の状況	16
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	16
(5) 主要景況項目の概況	17
5 サービス業の景況	18
(1) 主要項目の動き	18
(2) 主要3項目の状況	19
(3) 経営上の問題点の状況	20
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	20
(5) 主要景況項目の概況	21

1 産業全体の景況概況

産業全体の業況DIはやや悪化した。原材料高、人件費上昇分の価格転嫁難が継続。製造業と建設業では人手不足感が強まり、小売業とサービス業では記録的猛暑による利用控えが重なり景況感を下押しした。

(1) 産業全体の業況

- ・産業全体の業況DIは、-17.3と悪化した（前期差0.5ポイント減少）。
来期は、業況の上昇判断と低下判断がそれぞれ若干減少し、-17.9となる見通し。
- ・売上（完成工事）額DIは、前期からマイナス幅がやや拡大し、-17.8となった。
来期見通しは-13.3であり、マイナス幅が縮小する見通し。
- ・採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、-21.7となった。
来期見通しは-23.3であり、マイナス幅がやや拡大する見通し。

(2) 業種別の景況概要

製造業 「業況判断DI」は、-14.6、対前期比2.5ポイントの好転(P.6)

経営上の問題点	
第1位	原材料価格の上昇
第2位	需要の停滞
第3位	生産設備の不足・老朽化 熟練技術者の確保難

業況判断DI値は、好転、悪化が増加、不変が減少した。主要DIの前期比較は、売上（加工）額DIが増加、採算DIが悪化、資金繰りDIが悪化、従業員DIが減少した。

建設業 「業況判断DI」は、-20.0、対前期比10.0ポイントの悪化(P.10)

経営上の問題点	
第1位	材料価格の上昇
第2位	材料費・人件費以外の経費増加 民間需要の停滞
第4位	従業員の確保難、人件費の増加

業況判断DI値は、好転は増減なし、不変が減少、悪化が増加した。主要DIの前期比較は、完成工事額（請負工事）DIが増減なし、採算DIが悪化、資金繰りDIが悪化、従業員DIが減少した。

小売業 「業況判断DI」は、-31.5、前期と変化なし(P.14)

経営上の問題点	
第1位	消費者ニーズの変化への対応
第2位	仕入単価の上昇
第3位	購買力の他地域への流出 需要の停滞

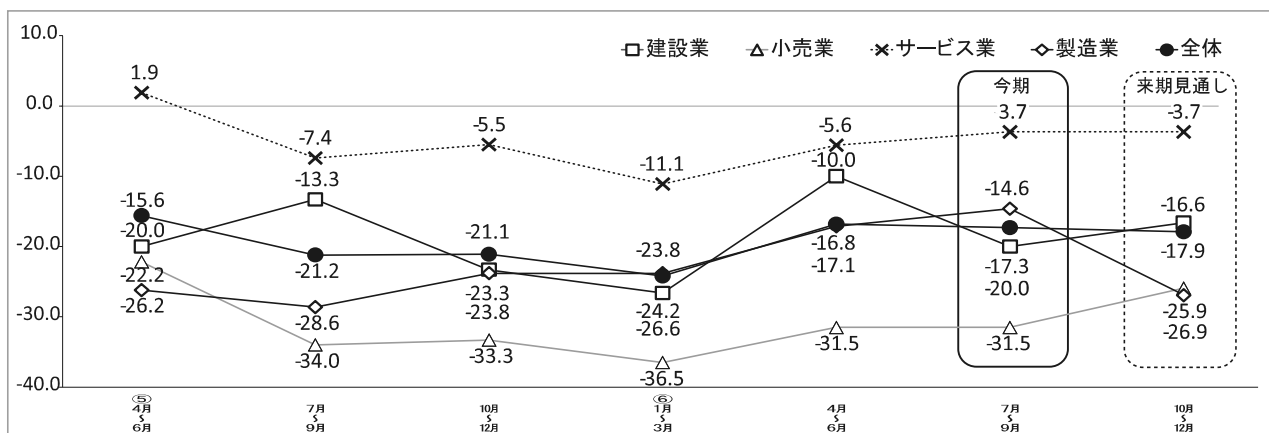
業況判断DI値は、好転、悪化が減少、不変が増加した。主要DIの前期比較は、売上額DIが減少、採算DIが悪化、資金繰りDIが悪化、従業員DIが減少した。

サービス業 「業況判断DI」は、-3.7、対前期比1.9ポイントの好転(P.18)

経営上の問題点	
第1位	材料等仕入単価の上昇
第2位	需要の停滞
第3位	利用者ニーズの変化

業況判断DI値は、好転、悪化が減少、不変が増加した。主要DIの前期比較は、売上（収入）額DIが減少、採算DIが悪化、資金繰りDIが悪化、従業員DIが増減なし。

＜図 1－1＞業況判断DIの推移



●調査対象企業からのコメント

製造業

- ・人件費増加に伴う加工賃アップが難しい。多少アップになったとしても全体の経費増加に対して少額になると予想される。(自動車部分品・附属品製造業)
- ・売上は伸びており注文いただいている数も多いが、従業員・パートの人手が足りない状況であり採用していきたい。(木製家具製造業(漆塗りを除く))
- ・10月に実施される最低賃金の上げが、更に利益を圧迫。(じゅうたん・その他の繊維製床敷物製造業)

建設業

- ・人件費・原材料費・輸送費など諸経費の増加により利益率が低下。また、建設業界では人手不足の状況にあり外注先の確保にも苦慮。(建築工事業(木造建築工事業を除く))
- ・請負単価が上昇しないため、従業員は必要ではあるが採用すると赤字になってしまう。今後も人材は必要なため請負単価の上昇が期待される。(鉄筋工事業)
- ・原材料仕入価格の高騰や社会保険料の上昇などのコスト増加分を価格に転嫁できていない。(鉄骨工事業)

小売業

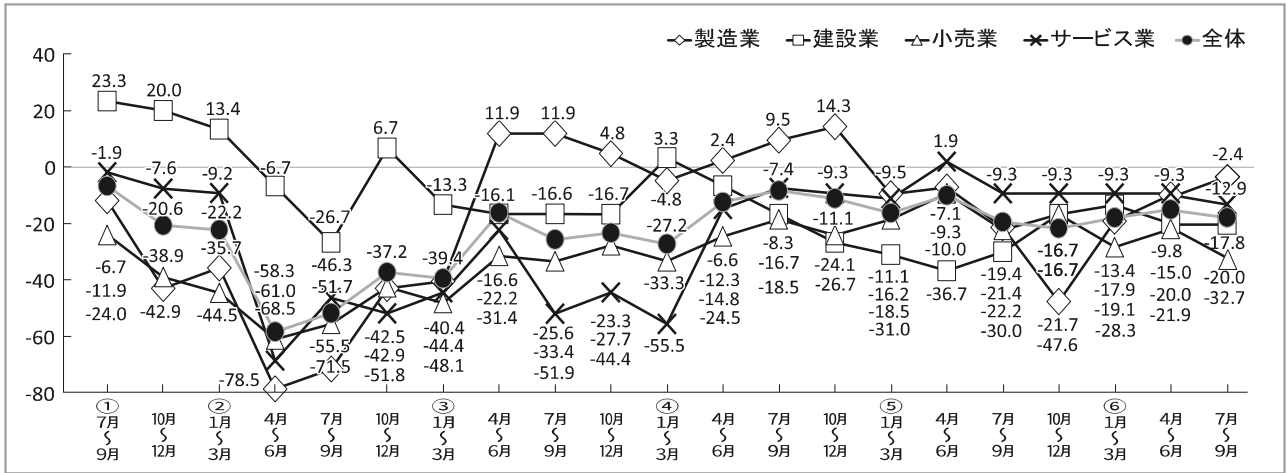
- ・酷暑の影響で来店客数が減少している。季節商品を中心に、徐々に値上げに取り組んでいるものの来店客の予算は変わらないため思うように価格転嫁は進んでいない。(パン小売業(製造小売))
- ・人件費の引き上げは近い将来の経済効果になりうるが、小企業にとって企業努力はするものの大変負担になりうる。光熱費高騰もあり、売上増加と経費削減の両面で更なる改善が求められる。(各種食料品小売業)
- ・顧客の高齢化により客数の減少、売上額の減少になっている。(時計・眼鏡・光学機械小売業)

サービス業

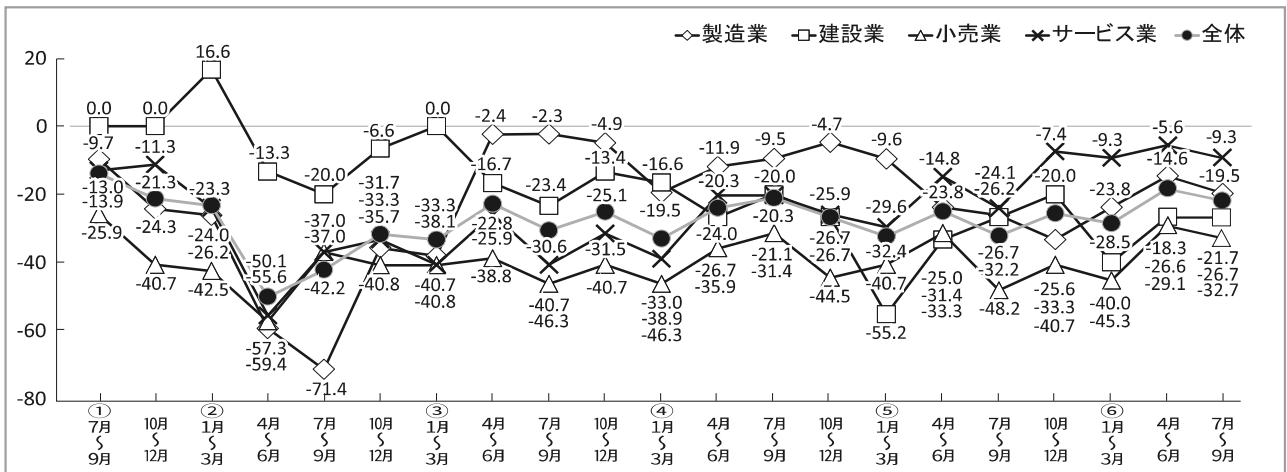
- ・暑い時期で来客数が伸びる期待をしていたが、暑すぎたせいか思ったほど伸びず。(理容業)
- ・物価高の中で、消費者が節約志向になっていると強く感じる。その上に、猛暑の影響を感じる。そのような状況だが、利用したいと思ってもらえる商品開発や企画などを実施する必要性を感じている。(普通洗濯業)
- ・夜間営業をやめて長時間労働の人件費や水道光熱費を節減。(食堂, レストラン(専門料理店を除く))

(3) 主要4項目及び業況判断DIの推移 —前年同期比—

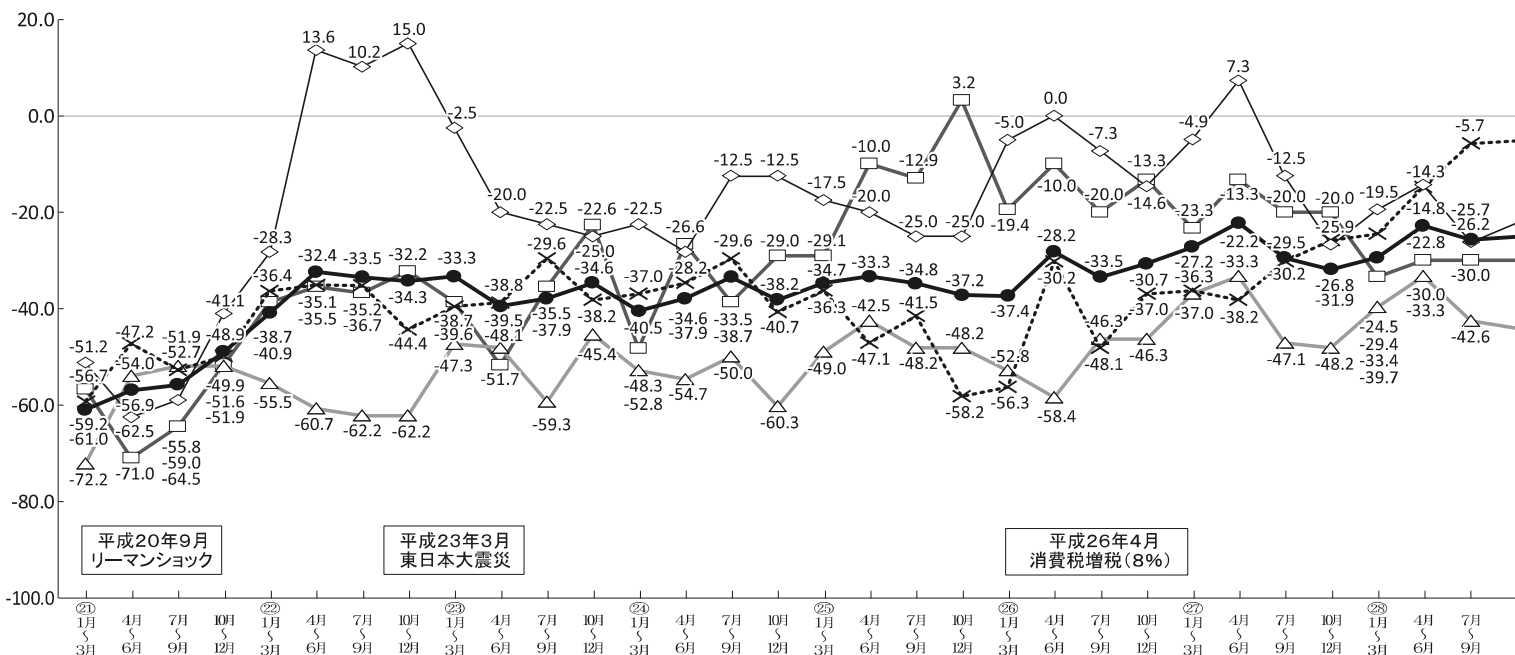
＜図1-2＞ (岡山県) 売上(完成工事)額の推移



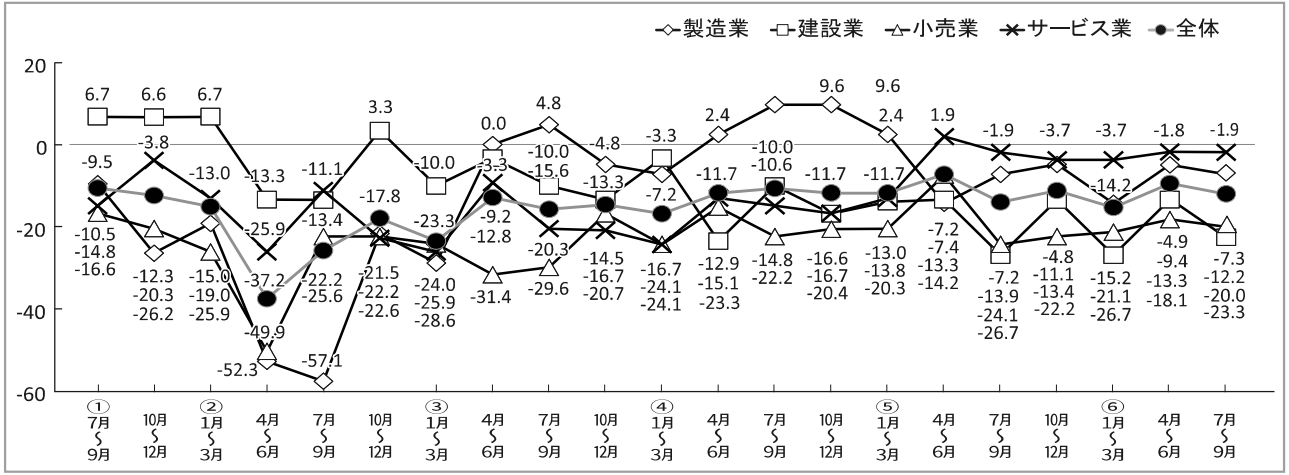
＜図1-3＞ (岡山県) 採算の推移



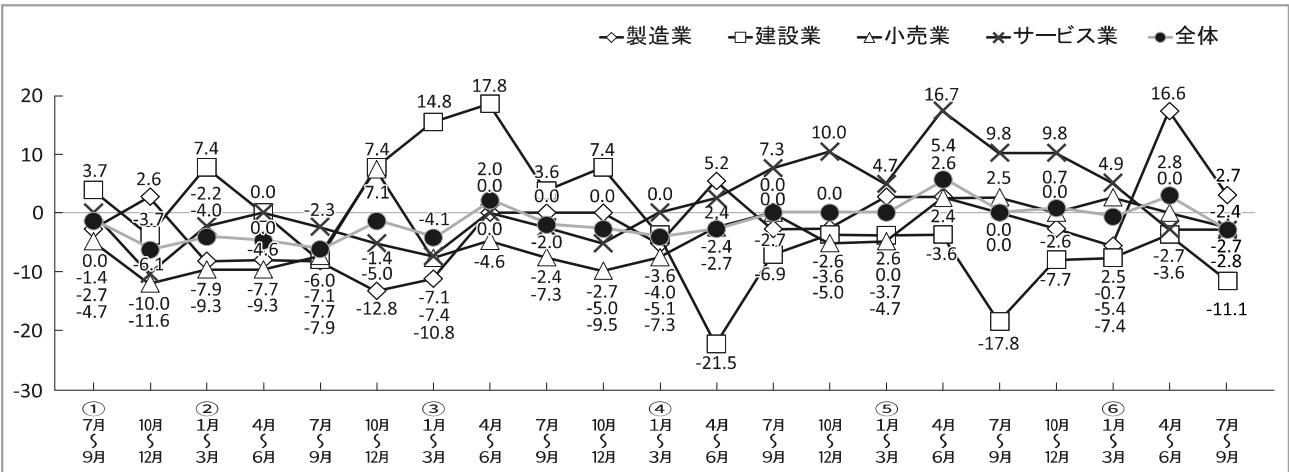
＜図1-6＞ (岡山県)



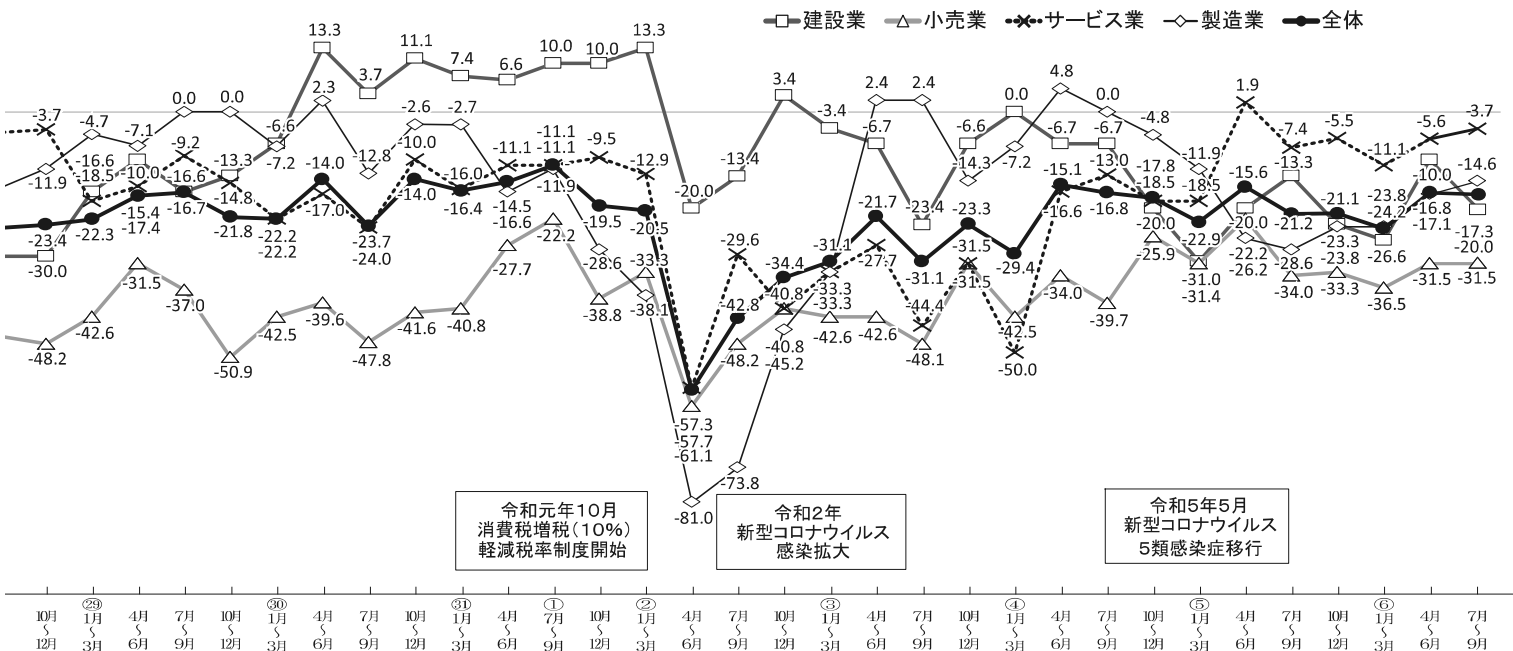
<図1-4> (岡山県) 資金繰りの推移



<図1-5> (岡山県) 従業員数の推移



商工会地区の業況判断D I >



2 製造業の景況

1) 主要項目の動き

「売上(加工)額」D I (増加-減少)は、(前期-9.8)→-2.4(前期差7.4ポイント増)と増加した。来期のD I (増加-減少)は、今期比▲17.1ポイントの減少を予想している。

「採算(経常利益)」D I (好転-悪化)は、(前期-14.6)→-19.5(前期差4.9ポイント減)と悪化した。来期のD I (好転-悪化)は、今期比▲7.3ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I (好転-悪化)は、(前期-4.9)→-7.3(前期差2.4ポイント減)と悪化した。来期のD I (好転-悪化)は、今期比▲9.8ポイントの悪化を予想している。

「原材料仕入単価」D I (上昇-低下)は、(前期51.4)→56.8(前期差5.4ポイント増)と上昇した。

「売上(加工)単価」D I (上昇-低下)は、(前期17.1)→12.2(前期差4.9ポイント減)と低下した。

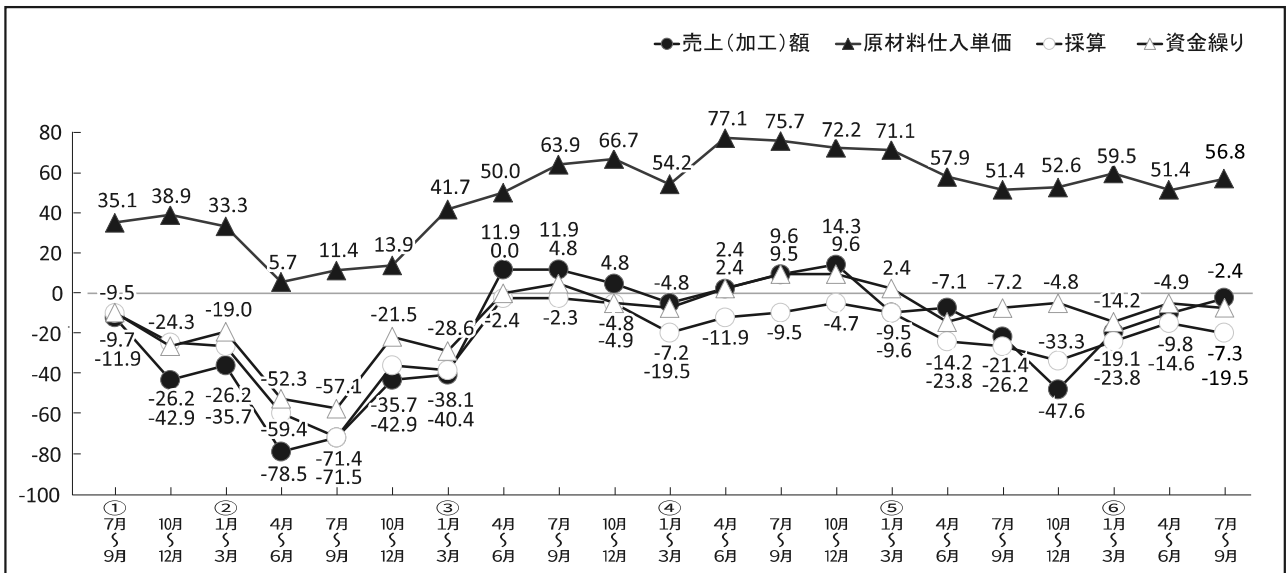
「売上(加工)数量」D I (増加-減少)は、(前期-21.9)→-4.9(前期差17.0ポイント増)と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「原材料価格の上昇」(26.3%)、第2位は「需要の停滞」(23.7%)、第3位は「生産設備の不足・老朽化」、「熟練技術者の確保難」(7.9%)である。

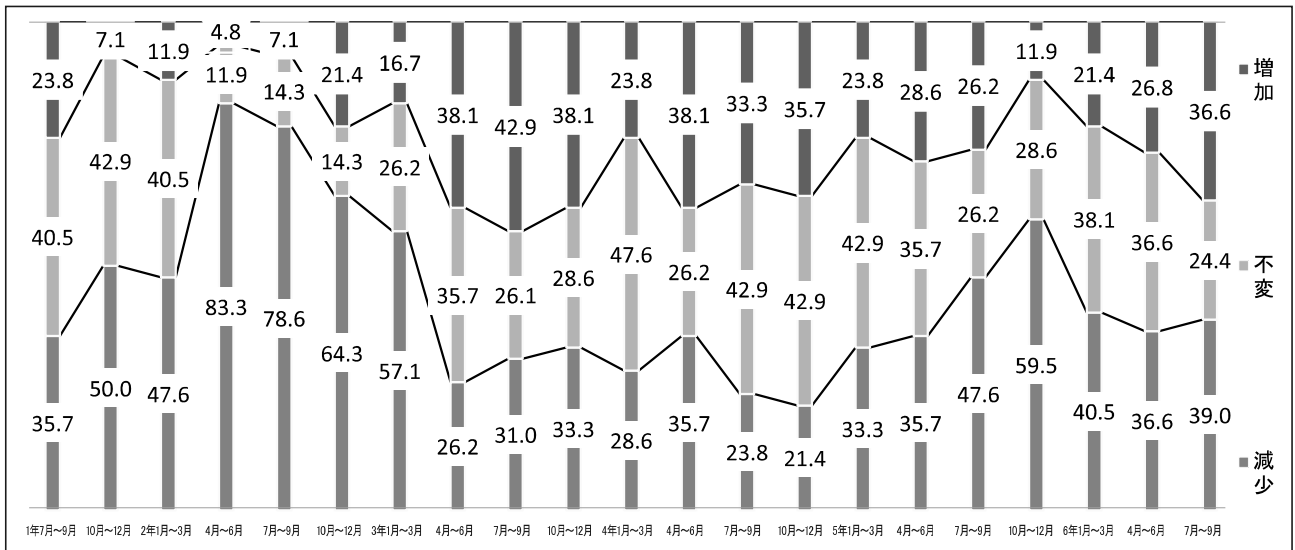
(1) 主要項目の動き —前年同期比—

<図2-1> (岡山県) 主要景況項目の推移

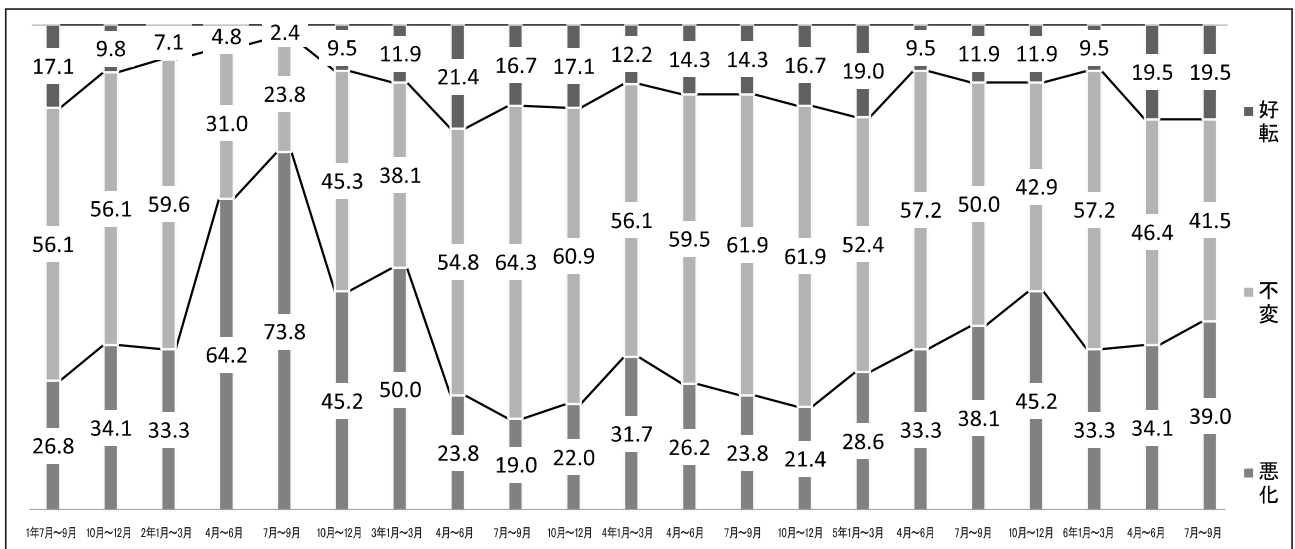


(2) 主要3項目の状況

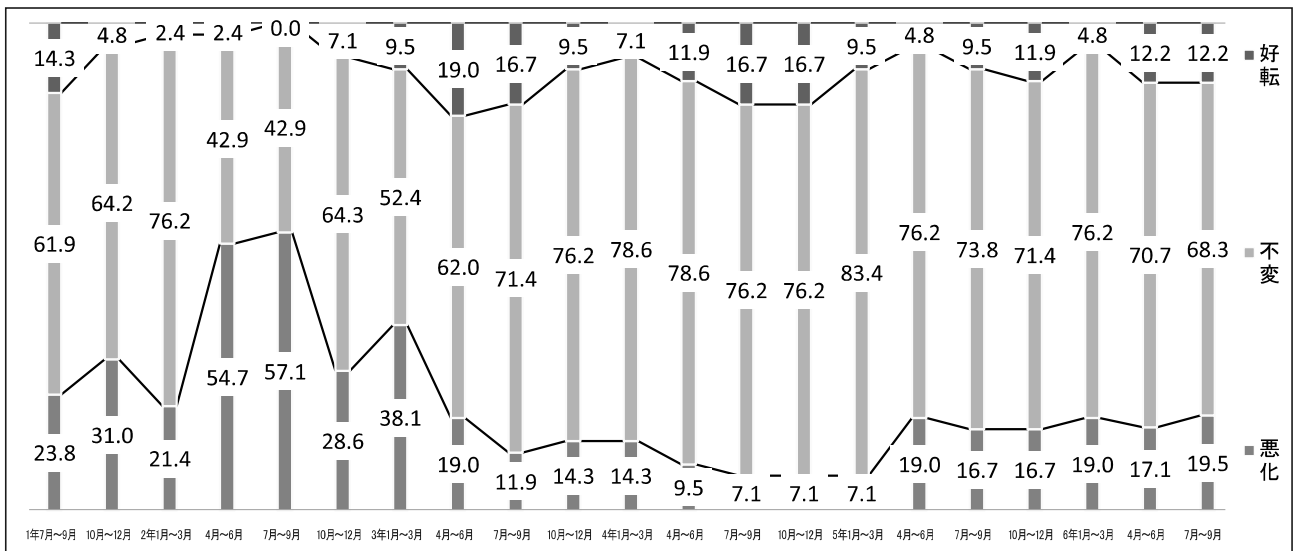
<図2-2> (岡山県) 売上(加工)額の状況



<図2-3> (岡山県) 採算の状況

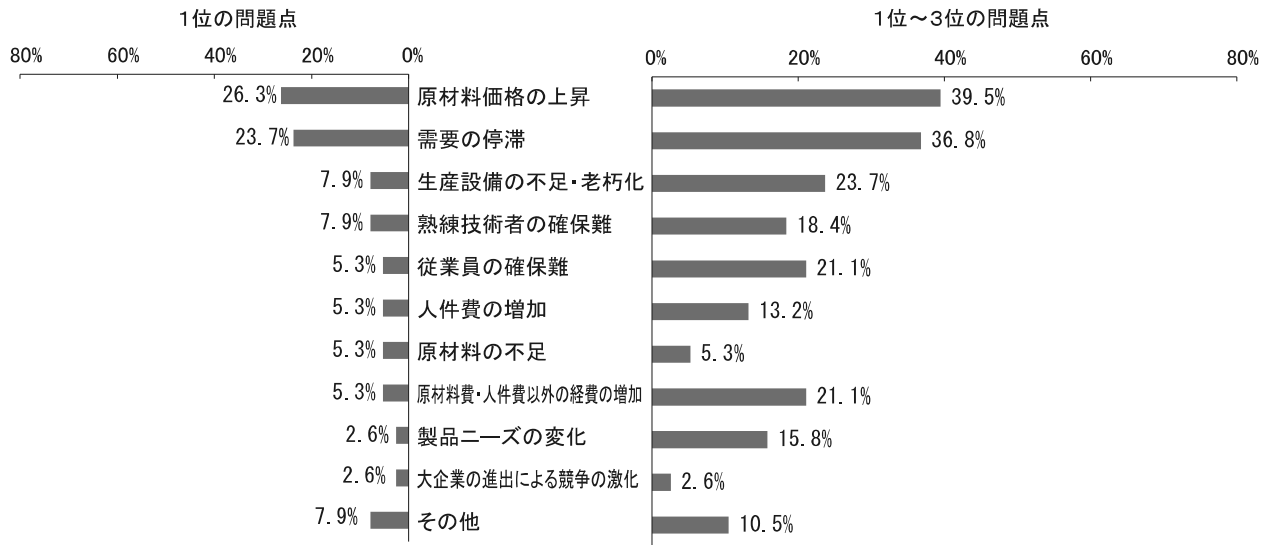


<図2-4> (岡山県) 資金繰りの状況



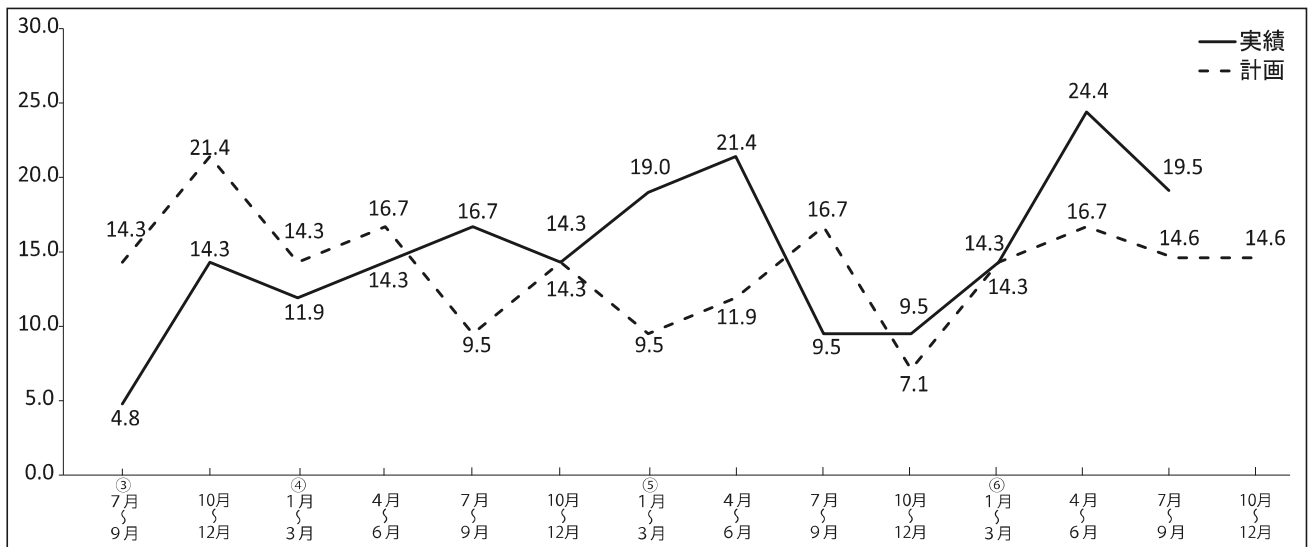
(3) 経営上の問題点の状況

＜図2-5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図2-6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表2-1＞（岡山県）新規設備投資

(%、上段：実績、下段：計画)

	3年 7月 ～9月	3年 10月 ～12月	4年 1月 ～3月	4年 4月 ～6月	4年 7月 ～9月	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月	6年 10月 ～12月
実施した 計画している	4.8 14.3	14.3 21.4	11.9 14.3	14.3 16.7	16.7 9.5	14.3 14.3	19.0 9.5	21.4 11.9	9.5 16.7	9.5 7.1	14.3 14.3	24.4 16.7	19.5 14.6	14.6
土地	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 25.0	0.0 20.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 16.7	10.0 28.6	0.0 0.0	16.7
工場建物	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 28.6	14.3 0.0	0.0 0.0	12.5 25.0	44.4 0.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 16.7	20.0 14.3	12.5 16.7	16.7
生産設備	50.0 50.0	16.7 77.8	20.0 100.0	33.3 57.1	28.6 75.0	16.7 33.3	62.5 25.0	11.1 20.0	50.0 42.9	75.0 100.0	83.3 50.0	60.0 57.1	50.0 50.0	33.3
車両・運 搬具	0.0 16.7	33.3 0.0	40.0 0.0	33.3 28.6	28.6 0.0	33.3 33.3	25.0 0.0	11.1 40.0	25.0 14.3	0.0 0.0	16.7 33.3	0.0 14.3	37.5 33.3	0.0
付帯施設	50.0 66.7	16.7 22.2	20.0 0.0	16.7 0.0	14.3 0.0	16.7 0.0	12.5 50.0	11.1 20.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 0.0	10.0 14.3	0.0 0.0	0.0
OA機器	0.0 16.7	16.7 0.0	20.0 0.0	50.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	12.5 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	25.0 0.0	0.0 0.0	10.0 28.6	0.0 0.0	16.7
福利厚生 施設	0.0 16.7	33.3 0.0	20.0 16.7	0.0 14.3	14.3 25.0	33.3 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 0.0	12.5 16.7	16.7
その他	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 25.0	0.0 0.0	0.0 0.0	22.2 0.0	25.0 14.3	0.0 0.0	0.0 0.0	10.0 0.0	0.0 0.0	16.7
実施していない 計画していない	95.2 85.7	85.7 78.6	88.1 85.7	85.7 83.3	83.3 90.5	85.7 85.7	81.0 90.5	78.6 88.1	90.5 83.3	90.5 92.9	85.7 85.7	75.6 83.3	80.5 85.4	85.4

(5) 主要景況項目の概況

<表2-2> (岡山県) 製造業 (令和6年7月~9月)

項目名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・減少・悪化	(a) - (c)
売上(加工)額	今期	36.6	24.4	39.0	-2.4
	前期	26.8	36.6	36.6	-9.8
	今期-前期	9.8	-12.2	2.4	7.4
	来期	14.6	51.3	34.1	-19.5
	来期-今期	-22.0	26.9	-4.9	-17.1
輸出額	今期	9.1	90.9	0.0	9.1
	前期	0.0	100.0	0.0	0.0
	今期-前期	9.1	-9.1	0.0	9.1
売上(加工)単価	今期	26.8	58.6	14.6	12.2
	前期	24.4	68.3	7.3	17.1
	今期-前期	2.4	-9.7	7.3	-4.9
売上(加工)数量	今期	31.7	31.7	36.6	-4.9
	前期	17.1	43.9	39.0	-21.9
	今期-前期	14.6	-12.2	-2.4	17.0
原材料仕入単価	今期	56.8	43.2	0.0	56.8
	前期	51.4	48.6	0.0	51.4
	今期-前期	5.4	-5.4	0.0	5.4
原材料在庫数量	今期	13.5	81.1	5.4	8.1
	前期	8.3	80.6	11.1	-2.8
	今期-前期	5.2	0.5	-5.7	10.9
製品在庫数量	今期	8.1	86.5	5.4	2.7
	前期	0.0	89.2	10.8	-10.8
	今期-前期	8.1	-2.7	-5.4	13.5
採算(経常利益)	今期	19.5	41.5	39.0	-19.5
	前期	19.5	46.4	34.1	-14.6
	今期-前期	0.0	-4.9	4.9	-4.9
	来期	12.2	48.8	39.0	-26.8
	来期-今期	-7.3	7.3	0.0	-7.3
引合い	今期	15.0	57.5	27.5	-12.5
	前期	20.0	50.0	30.0	-10.0
	今期-前期	-5.0	7.5	-2.5	-2.5
受注残	今期	7.3	70.7	22.0	-14.7
	前期	5.0	65.0	30.0	-25.0
	今期-前期	2.3	5.7	-8.0	10.3
従業員 (含臨時・パート)	今期	8.1	86.5	5.4	2.7
	前期	19.4	77.8	2.8	16.6
	今期-前期	-11.3	8.7	2.6	-13.9
外部人材 (請負・派遣)	今期	0.0	100.0	0.0	0.0
	前期	0.0	100.0	0.0	0.0
	今期-前期	0.0	0.0	0.0	0.0
設備操業率	今期	9.8	58.5	31.7	-21.9
	前期	14.6	58.6	26.8	-12.2
	今期-前期	-4.8	-0.1	4.9	-9.7
業況(自社)	今期	19.5	46.4	34.1	-14.6
	前期	14.6	53.7	31.7	-17.1
	今期-前期	4.9	-7.3	2.4	2.5
	来期	14.6	43.9	41.5	-26.9
	来期-今期	-4.9	-2.5	7.4	-12.3
資金繰り	今期	12.2	68.3	19.5	-7.3
	前期	12.2	70.7	17.1	-4.9
	今期-前期	0.0	-2.4	2.4	-2.4
	来期	7.3	68.3	24.4	-17.1
	来期-今期	-4.9	0.0	4.9	-9.8

3 建設業の景況

1) 主要項目の動き

「完成工事額（請負工事）」D I（増加－減少）は、（前期－20.0）→－20.0（前期差0.0ポイント）と増減なし。来期のD I（増加－減少）は、今期比13.4ポイントの増加を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－26.6）→－26.7（前期差0.1ポイント減）と悪化した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比16.7ポイントの好転を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－13.3）→－23.3（前期差10.0ポイント減）と悪化した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比6.6ポイントの好転を予想している。

「材料仕入単価」D I（上昇－低下）は、（前期60.0）→63.4（前期差3.4ポイント増）と上昇した。

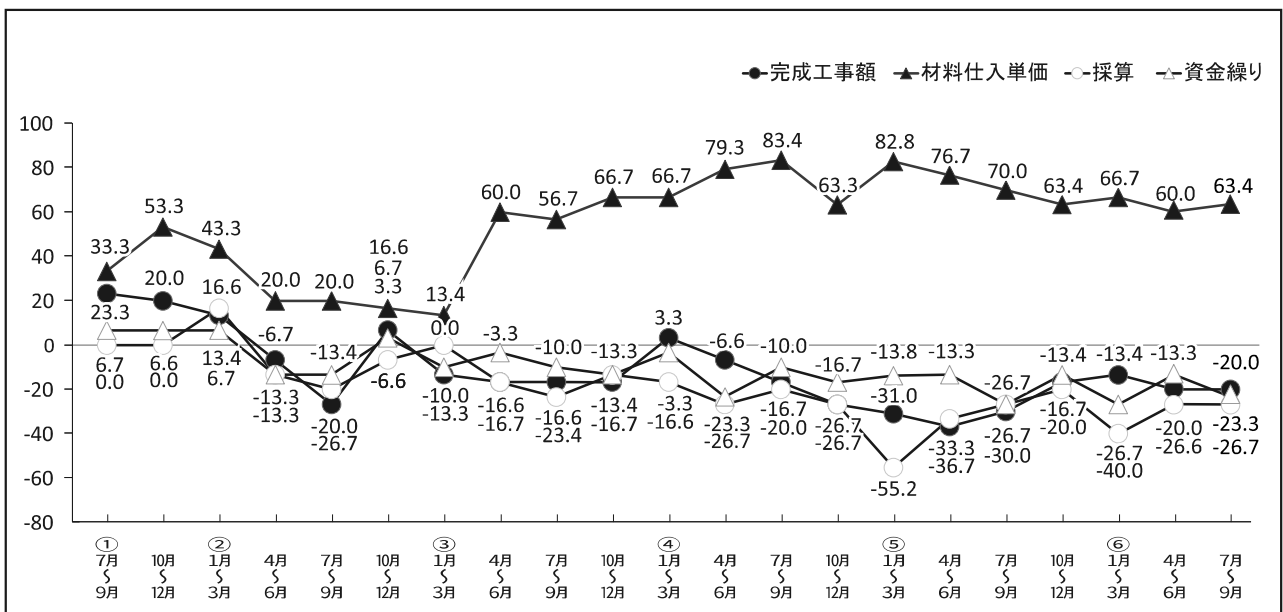
受注額（新規契約工事）」D I（増加－減少）は、（前期－20.0）→0.0（前期差20.0ポイント増）と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「材料価格の上昇」（21.4%）、第2位は「材料費・人件費以外の経費の増加」、「民間需要の停滞」（17.9%）、第4位は「従業員の確保難」、「人件費の増加」（14.3%）である。

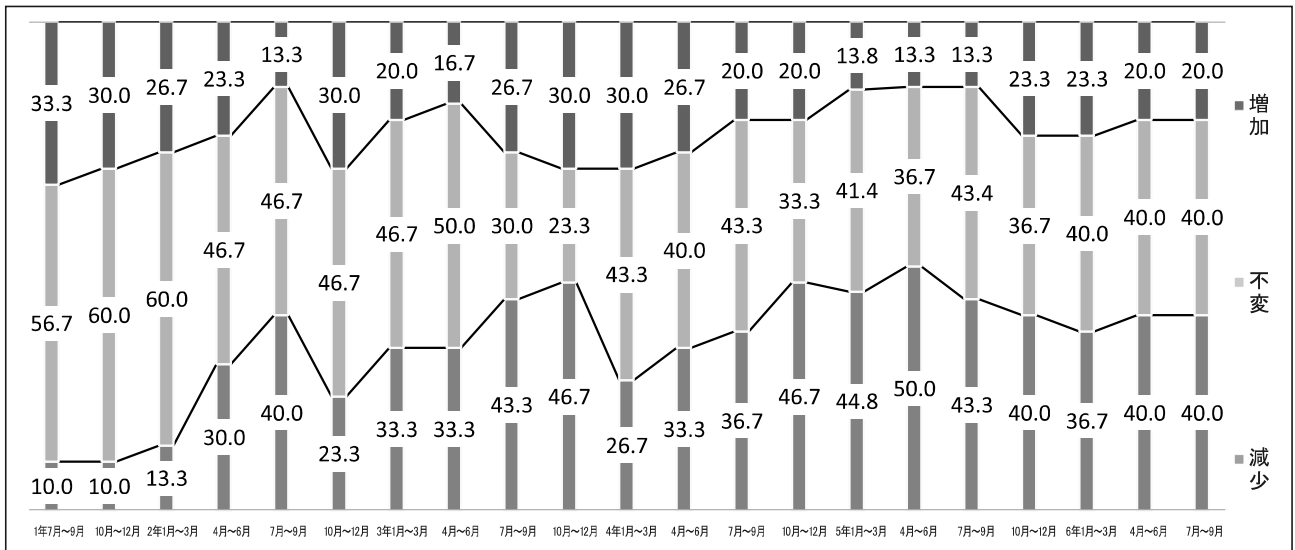
(1) 主要項目の動き —前年同期比—

<図3-1>（岡山県）主要景況項目の推移

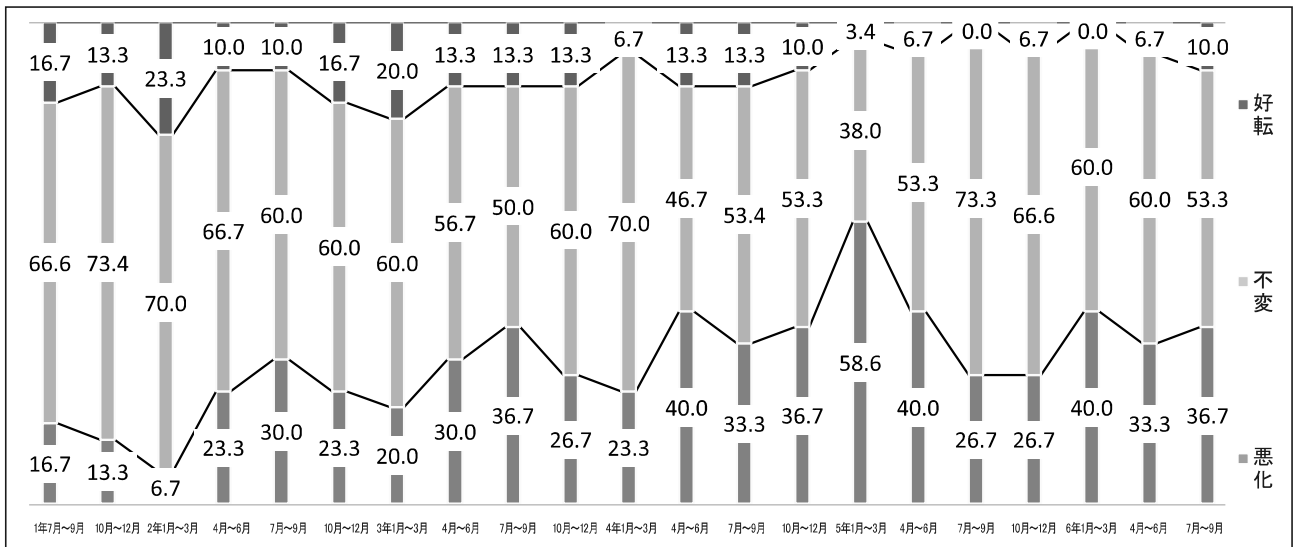


(2) 主要3項目の状況 —前年同期比—

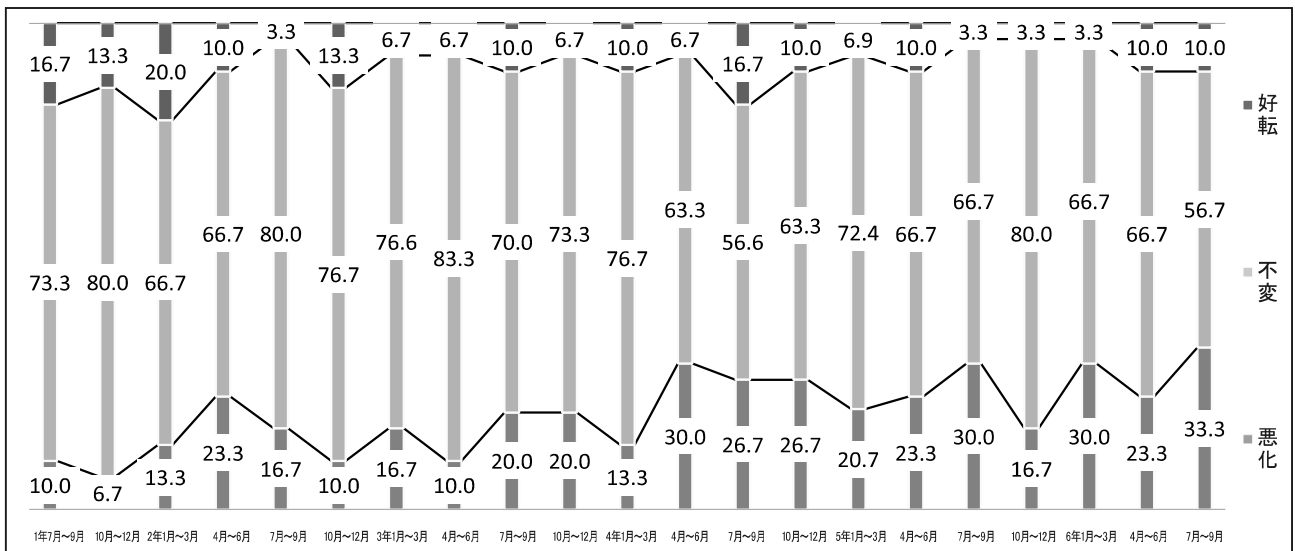
<図3-2> (岡山県) 完成工事額(請負工事)の状況



<図3-3> (岡山県) 採算の状況

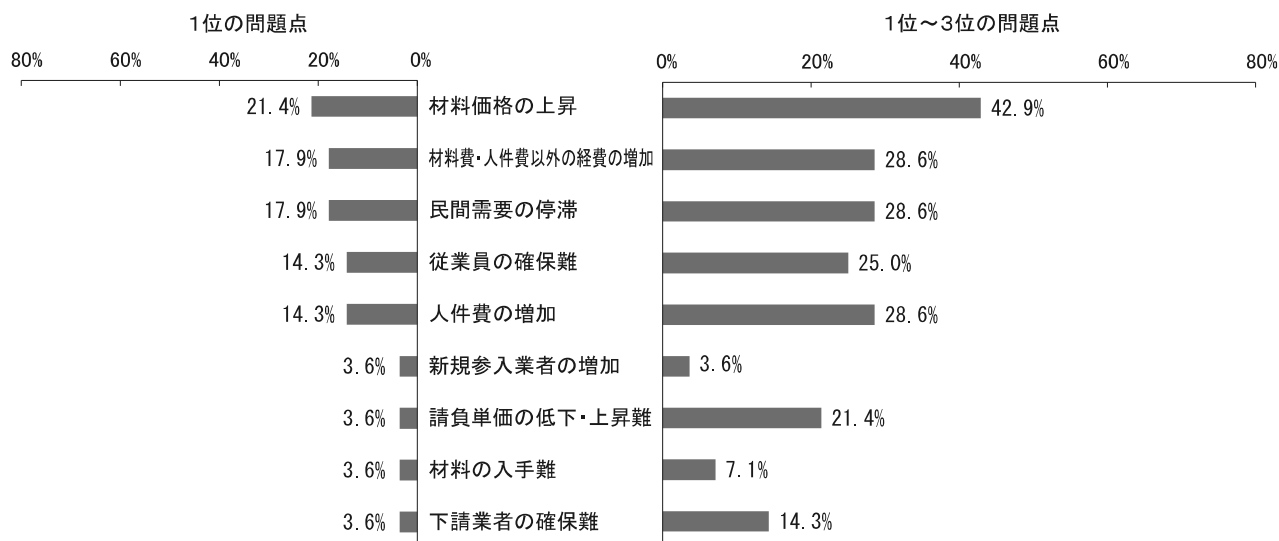


<図3-4> (岡山県) 資金繰りの状況



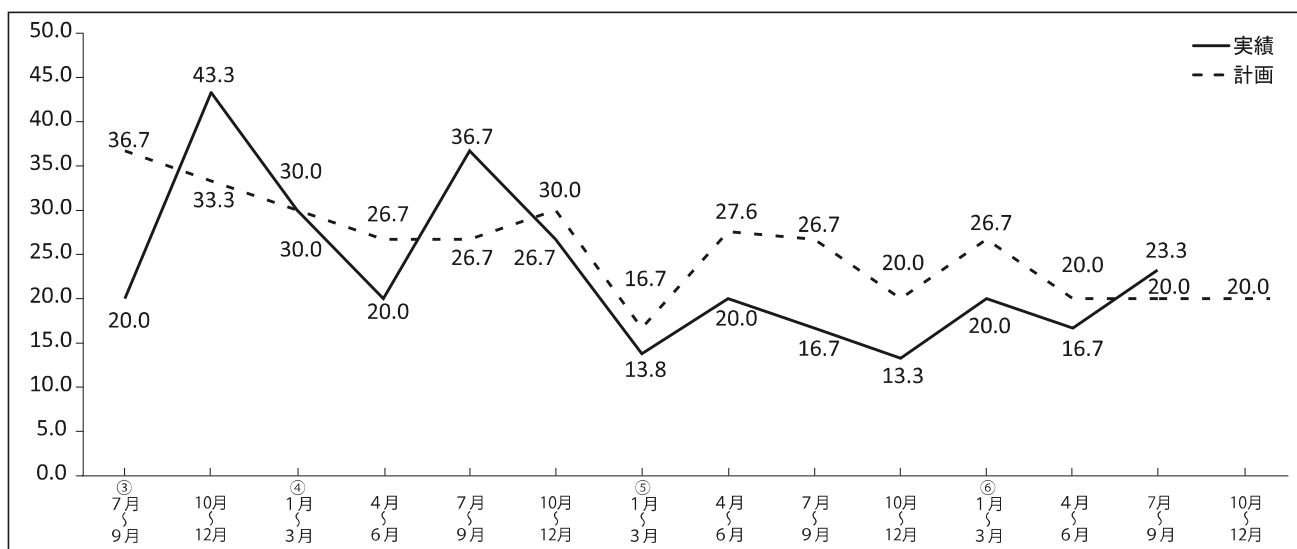
(3) 経営上の問題点の状況

<図3-5> (岡山県) 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

<図3-6> (岡山県) 設備投資の状況 (実績・計画)



<表3-1> (岡山県) 新規設備投資

(%、上段：実施、下段：計画)

	3年 7月 ~9月	3年 10月 ~12月	4年 1月 ~3月	4年 4月 ~6月	4年 7月 ~9月	4年 10月 ~12月	5年 1月 ~3月	5年 4月 ~6月	5年 7月 ~9月	5年 10月 ~12月	6年 1月 ~3月	6年 4月 ~6月	6年 7月 ~9月	6年 10月 ~12月
実施した	20.0	43.3	30.0	20.0	36.7	26.7	13.8	20.0	16.7	13.3	20.0	16.7	23.3	
計画している	36.7	33.3	30.0	26.7	26.7	30.0	16.7	27.6	26.7	20.0	26.7	20.0	20.0	20.0
土地	16.7	15.4	11.1	16.7	18.2	25.0	25.0	16.7	60.0	50.0	16.7	40.0	14.3	
建物	9.1	20.0	22.2	37.5	25.0	33.3	40.0	37.5	25.0	0.0	25.0	50.0	16.7	16.7
建設機械	50.0	46.2	55.6	33.3	36.4	62.5	25.0	16.7	0.0	50.0	0.0	40.0	28.6	
車両・運搬具	27.3	20.0	33.3	25.0	37.5	33.3	60.0	25.0	37.5	50.0	37.5	33.3	16.7	33.3
付帯施設	16.7	30.8	33.3	33.3	9.1	25.0	25.0	83.3	40.0	25.0	33.3	0.0	57.1	
〇A機器	36.4	30.0	14.4	12.5	37.5	44.4	40.0	50.0	37.5	16.7	25.0	33.3	33.3	33.3
福利厚生施設	0.0	7.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	9.1	10.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
〇A機器	16.7	7.7	22.2	50.0	54.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	33.3	40.0	28.6	
福利厚生施設	18.2	10.0	0.0	25.0	50.0	11.1	20.0	12.5	12.5	16.7	12.5	33.3	33.3	33.3
その他	33.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	16.7	20.0	14.3	
福利厚生施設	9.1	10.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	16.7	12.5	0.0	0.0	0.0
その他	16.7	15.4	0.0	0.0	18.2	0.0	75.0	16.7	20.0	0.0	0.0	0.0	28.6	
その他	9.1	20.0	22.2	37.5	12.5	11.1	0.0	12.5	25.0	16.7	25.0	33.3	33.3	33.3
実施していない	80.0	56.7	70.0	80.0	63.3	73.3	86.2	80.0	83.3	86.7	80.0	83.3	76.7	
計画していない	63.3	66.7	70.0	73.3	73.3	70.0	83.3	72.4	73.3	80.0	73.3	80.0	80.0	80.0

(5) 主要景況項目の概況

<表3-2> (岡山県) 建設業 (令和6年7月~9月)

項 目 名		D I 値の変化			
		(a)上昇・ 増加・好転	(b)不変	(c)低下・ 減少・悪化	(a) - (c)
受注額 (新規契約工事)	今期	30.0	40.0	30.0	0.0
	前期	20.0	40.0	40.0	-20.0
	今期-前期	10.0	0.0	-10.0	20.0
完成工事額 (請負工事)	今期	20.0	40.0	40.0	-20.0
	前期	20.0	40.0	40.0	-20.0
	今期-前期	0.0	0.0	0.0	0.0
	来期	26.7	40.0	33.3	-6.6
	来期-今期	6.7	0.0	-6.7	13.4
材料仕入単価	今期	66.7	30.0	3.3	63.4
	前期	63.3	33.4	3.3	60.0
	今期-前期	3.4	-3.4	0.0	3.4
採算(経常利益)	今期	10.0	53.3	36.7	-26.7
	前期	6.7	60.0	33.3	-26.6
	今期-前期	3.3	-6.7	3.4	-0.1
	来期	13.3	63.4	23.3	-10.0
	来期-今期	3.3	10.1	-13.4	16.7
引合い	今期	10.0	73.3	16.7	-6.7
	前期	17.9	67.8	14.3	3.6
	今期-前期	-7.9	5.5	2.4	-10.3
契約残 (未消化工事高)	今期	23.3	43.4	33.3	-10.0
	前期	13.3	53.4	33.3	-20.0
	今期-前期	10.0	-10.0	0.0	10.0
従業員 (含臨時・パート)	今期	7.4	74.1	18.5	-11.1
	前期	7.1	82.2	10.7	-3.6
	今期-前期	0.3	-8.1	7.8	-7.5
外部人材 (請負・派遣)	今期	14.3	71.4	14.3	0.0
	前期	14.3	64.3	21.4	-7.1
	今期-前期	0.0	7.1	-7.1	7.1
業況(自社)	今期	13.3	53.4	33.3	-20.0
	前期	13.3	63.4	23.3	-10.0
	今期-前期	0.0	-10.0	10.0	-10.0
	来期	6.7	70.0	23.3	-16.6
	来期-今期	-6.6	16.6	-10.0	3.4
資金繰り	今期	10.0	56.7	33.3	-23.3
	前期	10.0	66.7	23.3	-13.3
	今期-前期	0.0	-10.0	10.0	-10.0
	来期	3.3	76.7	20.0	-16.7
	来期-今期	-6.7	20.0	-13.3	6.6

4 小売業の景況

1) 主要項目の動き

「売上額」D I（増加－減少）は、（前期－21.9）→－32.7（前期差10.8ポイント減）と減少した。来期のD I（増加－減少）は、今期比1.7ポイントの増加を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－29.1）→－32.7（前期差3.6ポイント減）と悪化した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲9.2ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－18.1）→－20.0（前期差1.9ポイント減）と悪化した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲1.8ポイントの悪化を予想している。

「商品仕入単価」D I（上昇－低下）は、（前期60.0）→67.3（前期差7.3ポイント増）と上昇した。

「客単価」D I（上昇－低下）は、（前期－3.7）→－18.1（前期差14.4ポイント減）と低下した。

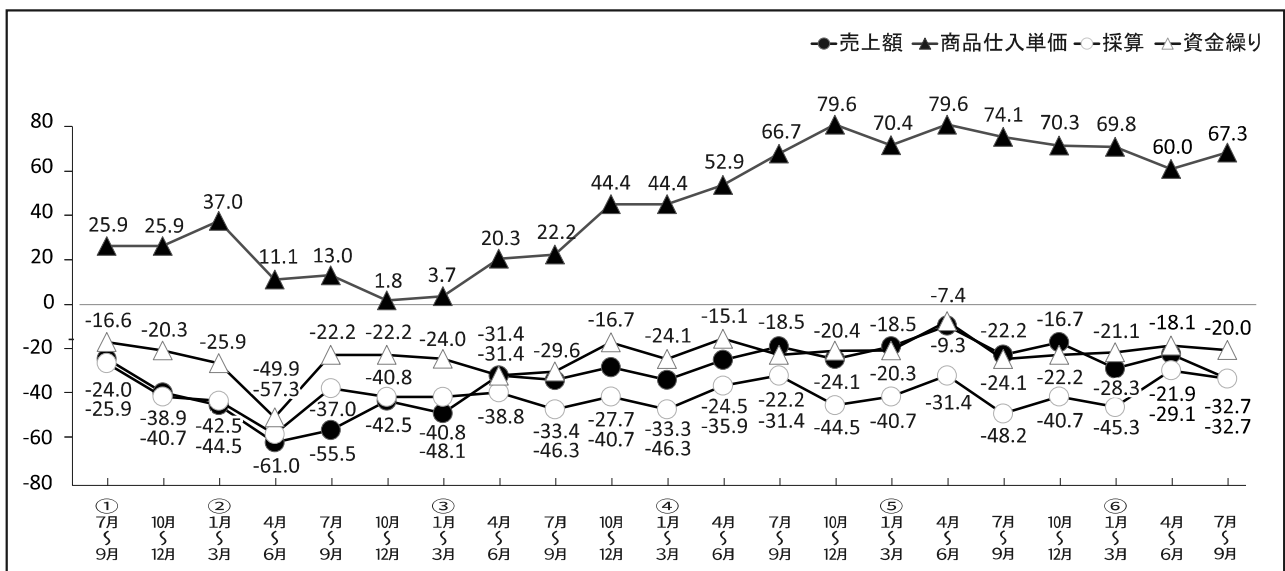
「客数」D I（増加－減少）は、（前期－34.6）→－40.0（前期差5.4ポイント減）と減少した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「消費者ニーズの変化への対応」（24.1%）、第2位は「仕入単価の上昇」（22.2%）、第3位は「購買力の他地域への流出」、「需要の停滞」（11.1%）である。

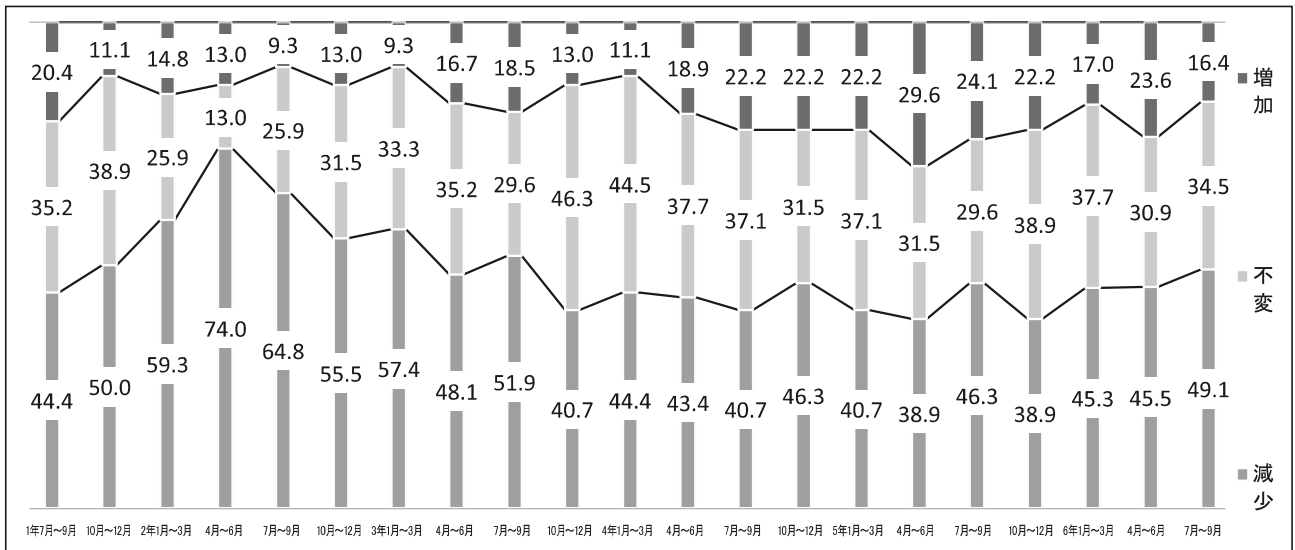
(1) 主要項目の動き —前年同期比—

<図4-1>（岡山県）主要景況項目の推移

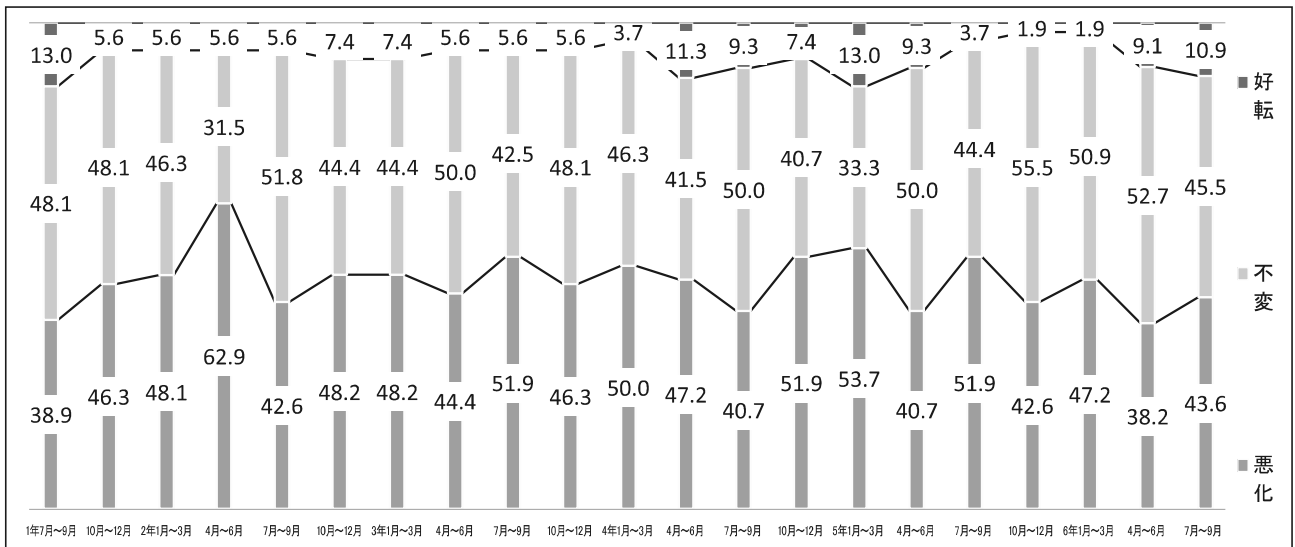


(2) 主要3項目の状況 —前年同期比—

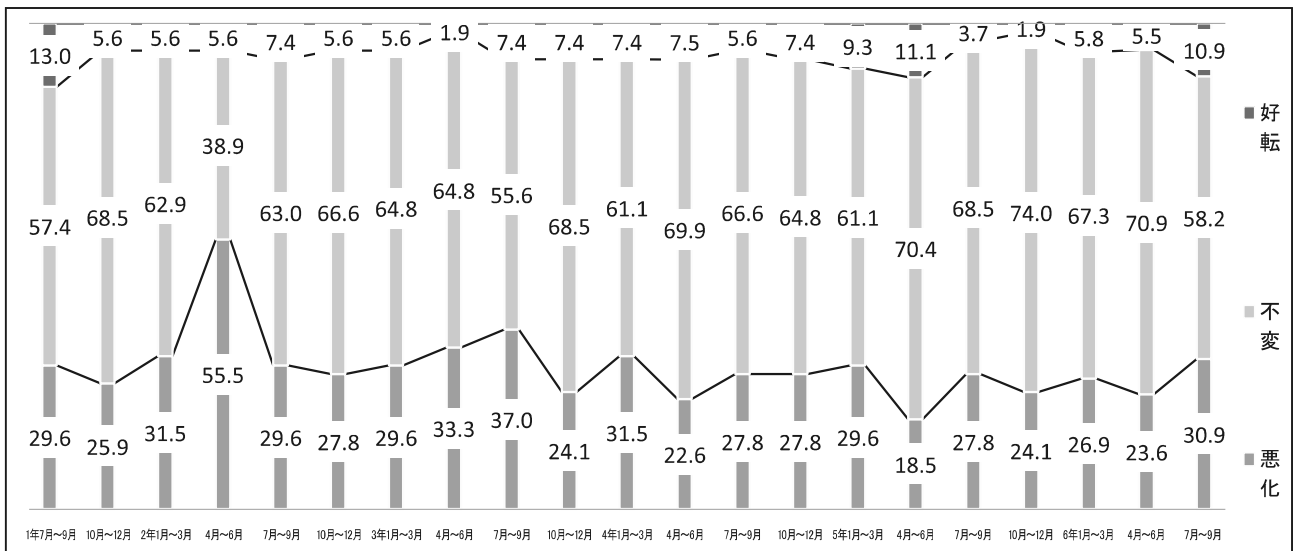
<図4-2> (岡山県) 売上額の状況



<図4-3> (岡山県) 採算の状況

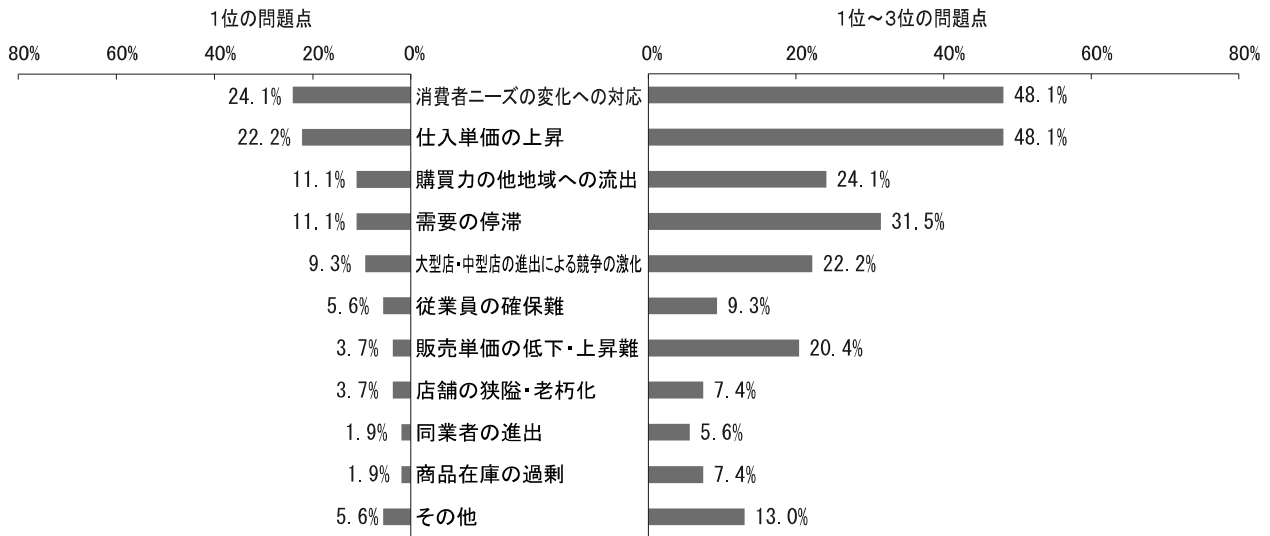


<図4-4> (岡山県) 資金繰りの状況



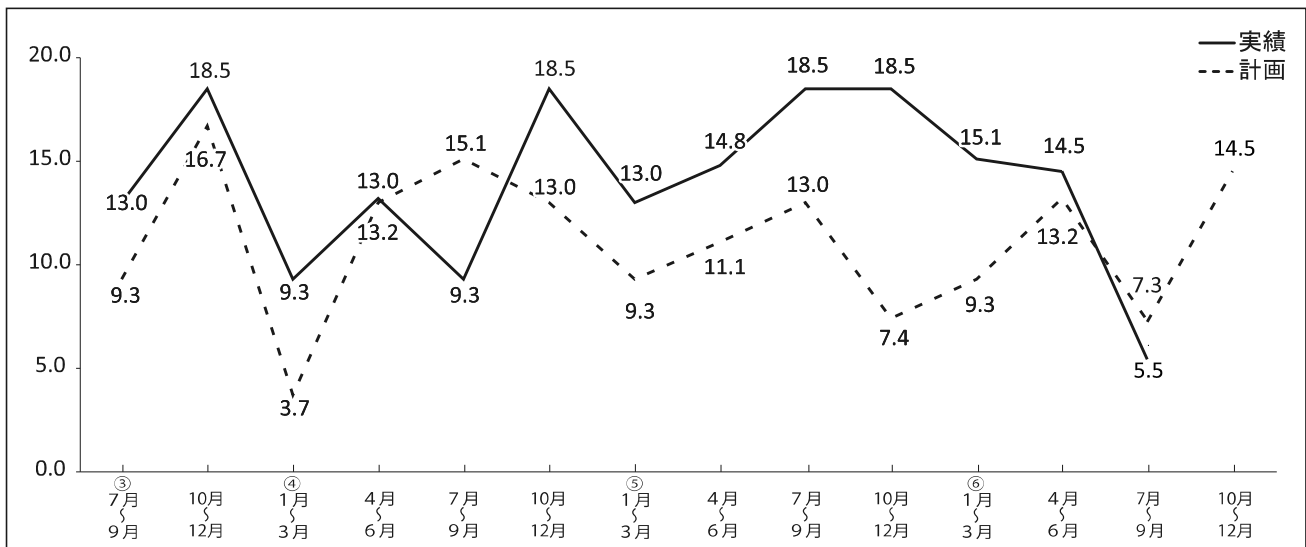
(3) 経営上の問題点の状況

＜図4-5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図4-6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表4-1＞（岡山県）新規設備投資

(%, 上段: 実績、下段: 計画)

	3年 7月 ～9月	3年 10月 ～12月	4年 1月 ～3月	4年 4月 ～6月	4年 7月 ～9月	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月	6年 10月 ～12月
実施した	13.0	18.5	9.3	13.2	9.3	18.5	13.0	14.8	18.5	18.5	15.1	14.5	5.5	
計画している	9.3	16.7	3.7	13.0	15.1	13.0	9.3	11.1	13.0	7.4	9.3	13.2	7.3	14.5
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
店舗	0.0	10.0	60.0	28.6	0.0	10.0	28.6	12.5	20.0	0.0	25.0	37.5	0.0	
販売設備	14.3	20.0	40.0	42.9	0.0	20.0	42.9	62.5	40.0	40.0	50.0	50.0	66.7	
車両・運搬具	14.3	40.0	0.0	14.3	60.0	40.0	28.6	37.5	20.0	30.0	0.0	25.0	33.3	
付帯施設	20.0	11.1	50.0	0.0	12.5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	50.0	
OA機器	42.9	10.0	20.0	14.3	40.0	10.0	42.9	12.5	20.0	20.0	0.0	25.0	0.0	
福利厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	28.6	30.0	0.0	14.3	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	25.0	0.0	0.0	
実施していない	87.0	81.5	90.7	86.8	90.7	81.5	87.0	85.2	81.5	81.5	84.9	85.5	94.5	
計画していない	90.7	83.3	96.3	87.0	84.9	87.0	90.7	88.9	87.0	92.6	90.7	86.8	92.7	85.5

(5) 主要景況項目の概況

<表4-2> (岡山県) 小売業 (令和6年7月~9月)

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・ 増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・ 減少・悪化	(a) - (c)
売上額	今期	16.4	34.5	49.1	-32.7
	前期	23.6	30.9	45.5	-21.9
	今期-前期	-7.2	3.6	3.6	-10.8
	来期	14.5	40.0	45.5	-31.0
	来期-今期	-1.9	5.5	-3.6	1.7
客単価	今期	16.4	49.1	34.5	-18.1
	前期	23.6	49.1	27.3	-3.7
	今期-前期	-7.2	0.0	7.2	-14.4
客数	今期	16.4	27.2	56.4	-40.0
	前期	14.5	36.4	49.1	-34.6
	今期-前期	1.9	-9.2	7.3	-5.4
商品仕入単価	今期	70.9	25.5	3.6	67.3
	前期	65.5	29.0	5.5	60.0
	今期-前期	5.4	-3.5	-1.9	7.3
商品仕入額	今期	47.3	32.7	20.0	27.3
	前期	50.9	30.9	18.2	32.7
	今期-前期	-3.6	1.8	1.8	-5.4
商品在庫数量	今期	9.4	64.2	26.4	-17.0
	前期	11.3	58.5	30.2	-18.9
	今期-前期	-1.9	5.7	-3.8	1.9
採算 (経常利益)	今期	10.9	45.5	43.6	-32.7
	前期	9.1	52.7	38.2	-29.1
	今期-前期	1.8	-7.2	5.4	-3.6
	来期	3.6	50.9	45.5	-41.9
	来期-今期	-7.3	5.4	1.9	-9.2
従業員 (含臨時・パート)	今期	11.6	74.4	14.0	-2.4
	前期	14.3	71.4	14.3	0.0
	今期-前期	-2.7	3.0	-0.3	-2.4
外部人材 (請負・派遣)	今期	0.0	96.3	3.7	-3.7
	前期	0.0	96.0	4.0	-4.0
	今期-前期	0.0	0.3	-0.3	0.3
業況 (自社)	今期	7.4	53.7	38.9	-31.5
	前期	11.1	46.3	42.6	-31.5
	今期-前期	-3.7	7.4	-3.7	0.0
	来期	9.3	55.5	35.2	-25.9
	来期-今期	1.9	1.8	-3.7	5.6
資金繰り	今期	10.9	58.2	30.9	-20.0
	前期	5.5	70.9	23.6	-18.1
	今期-前期	5.4	-12.7	7.3	-1.9
	来期	5.5	67.2	27.3	-21.8
	来期-今期	-5.4	9.0	-3.6	-1.8

5 サービス業の景況

1) 主要項目の動き

「売上(収入)額」D I (増加-減少)は、(前期-9.3)→-12.9(前期差3.6ポイント減)と減少した。来期のD I (増加-減少)は、今期比18.4ポイントの増加を予想している。

「採算(経常利益)」D I (好転-悪化)は、(前期-5.6)→-9.3(前期差3.7ポイント減)と悪化した。来期のD I (好転-悪化)は、今期比0.0ポイントの増減なしを予想している。

「資金繰り」D I (好転-悪化)は、(前期-1.8)→-1.9(前期差0.1ポイント減)と悪化した。来期のD I (好転-悪化)は、今期比▲3.7ポイントの悪化を予想している。

「仕入単価(材料等)」D I (上昇-低下)は、(前期53.7)→49.1(前期差4.6ポイント減)と低下した。

「客単価」D I (上昇-低下)は、(前期3.7)→3.7(前期差0.0ポイント)と増減なし。

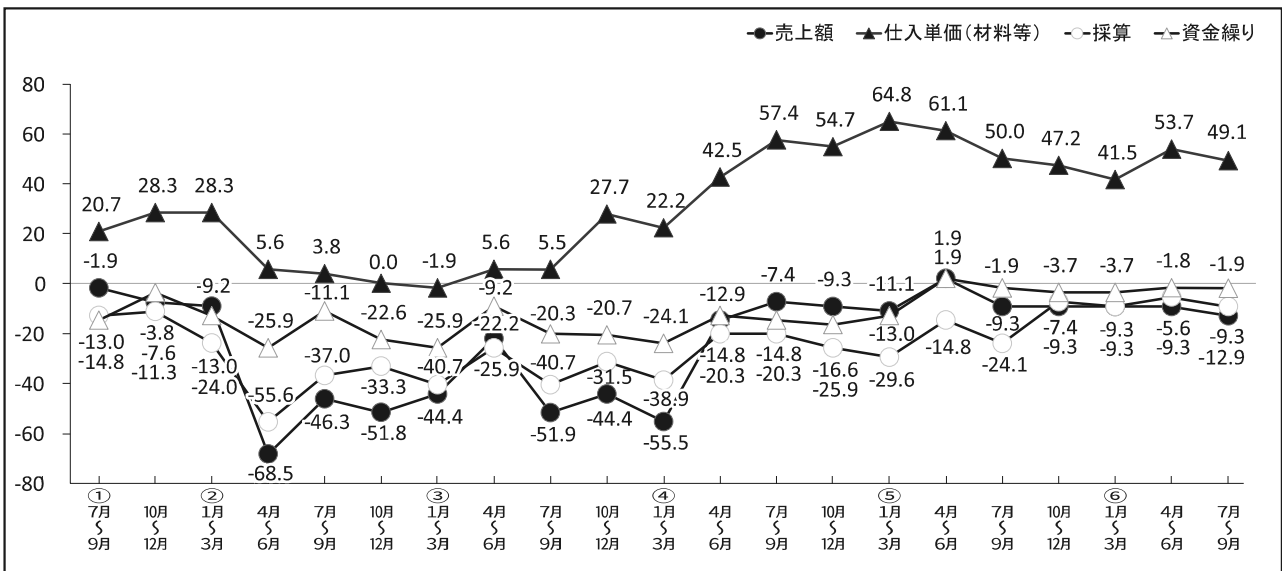
「利用客数」D I (増加-減少)は、(前期-3.7)→-13.0(前期差9.3ポイント減)と減少した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「材料等仕入単価の上昇」(23.8%)、第2位は「需要の停滞」(19.0%)、第3位は「利用者ニーズの変化」(14.3%)である。

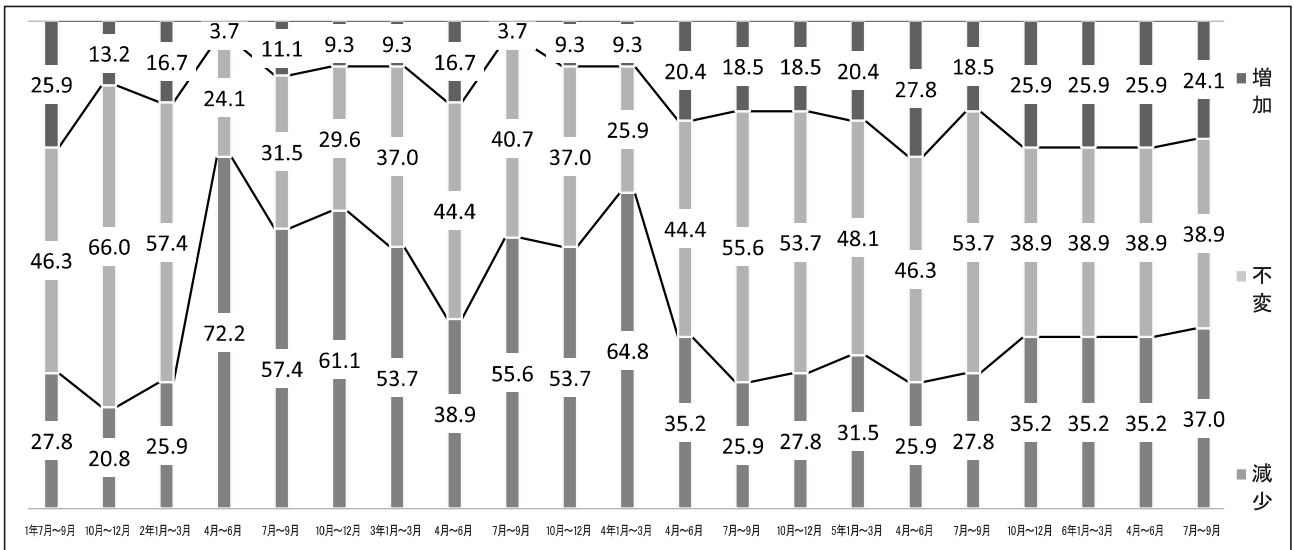
(1) 主要項目の動き —前年同期比—

<図5-1> (岡山県) 主要景況項目の推移

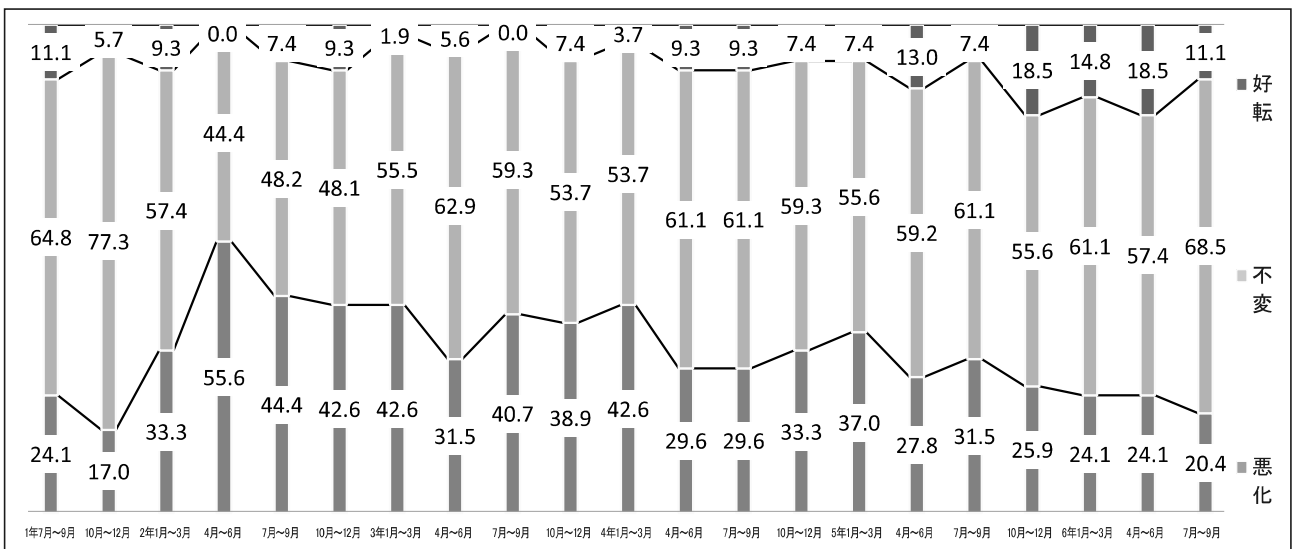


(2) 主要3項目の状況 —前年同期比—

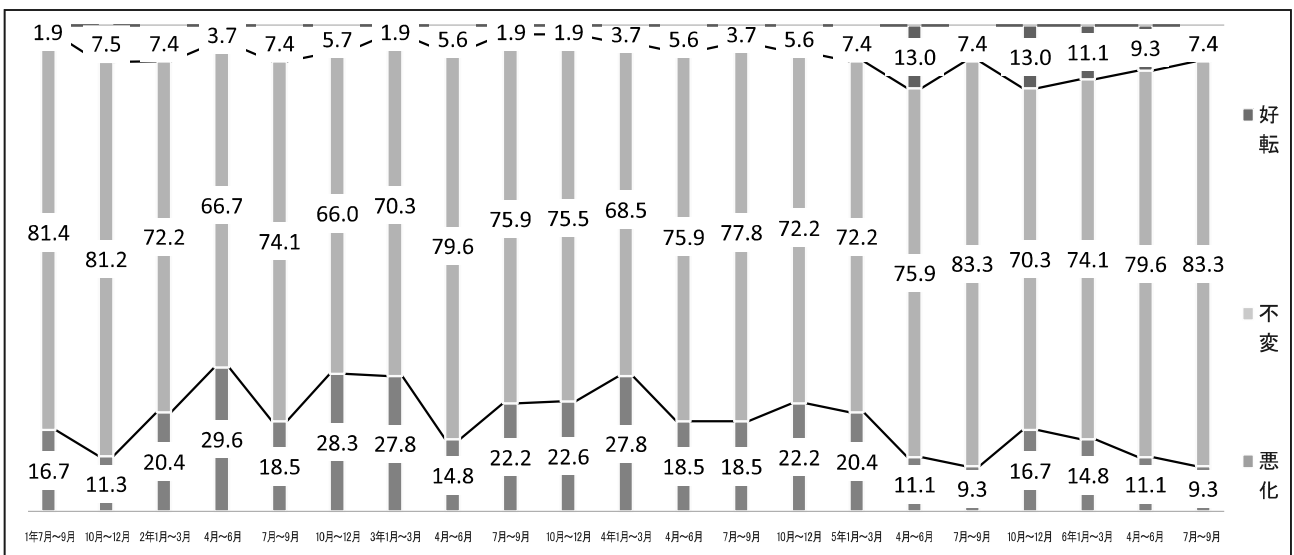
<図5-2> (岡山県) 売上(収入)額の状況



<図5-3> (岡山県) 採算の状況

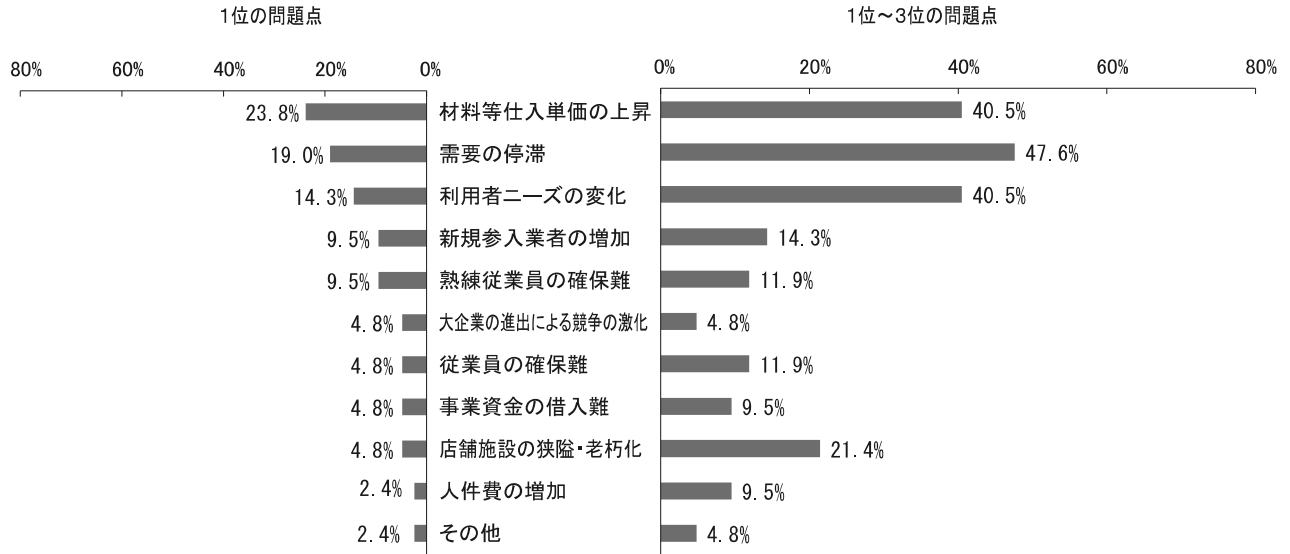


<図5-4> (岡山県) 資金繰りの状況



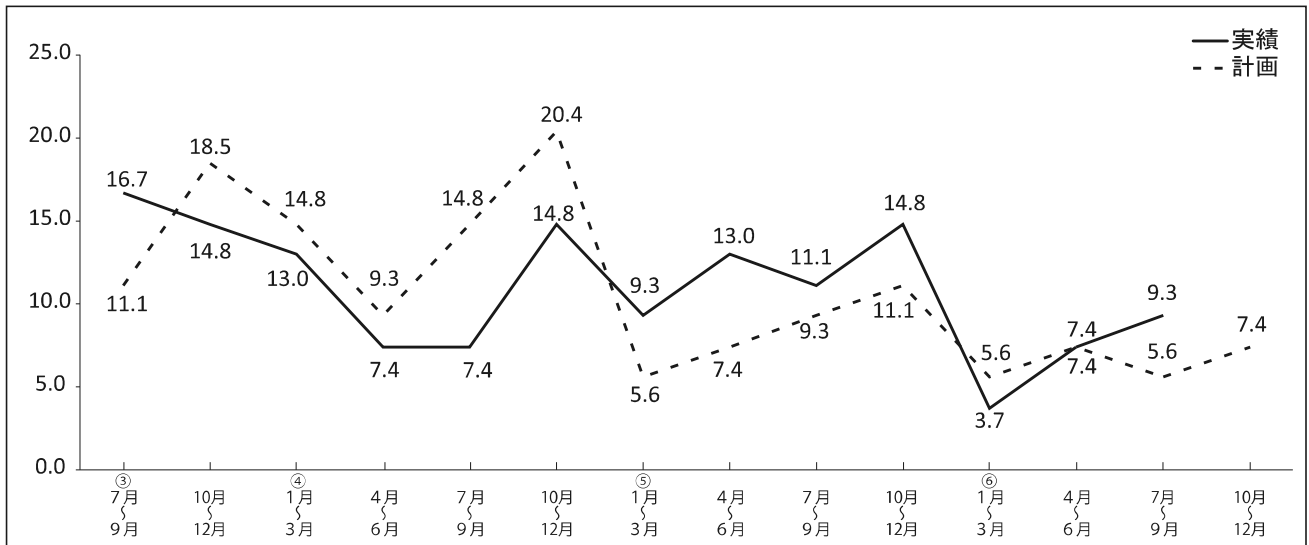
(3) 経営上の問題点の状況

＜図5-5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図5-6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表5-1＞（岡山県）新規設備投資

(%, 上段: 実施、下段: 計画)

	3年 7月～9月	3年 10月～12月	4年 1月～3月	4年 4月～6月	4年 7月～9月	4年 10月～12月	5年 1月～3月	5年 4月～6月	5年 7月～9月	5年 10月～12月	6年 1月～3月	6年 4月～6月	6年 7月～9月	6年 10月～12月
実施した	16.7	14.8	13.0	7.4	7.4	14.8	9.3	13.0	11.1	14.8	3.7	7.4	9.3	7.4
計画している	11.1	18.5	14.8	9.3	14.8	20.4	5.6	7.4	9.3	11.1	5.6	7.4	5.6	7.4
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
建物	11.1	12.5	28.6	0.0	0.0	12.5	0.0	14.3	16.7	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	55.6	50.0	28.6	25.0	50.0	50.0	60.0	42.9	33.3	25.0	50.0	25.0	20.0	20.0
車両・運搬具	11.1	0.0	28.6	50.0	0.0	0.0	20.0	14.3	16.7	12.5	0.0	50.0	20.0	0.0
付帯施設	16.7	10.0	25.0	40.0	62.5	36.4	33.3	100.0	0.0	33.3	33.3	50.0	33.3	25.0
〇A機器	22.2	50.0	42.9	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0	0.0	25.0	20.0	0.0
福利厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	33.3	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	14.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
実施していない	83.3	85.2	87.0	92.6	92.6	85.2	90.7	87.0	88.9	85.2	96.3	92.6	90.7	90.7
計画していない	88.9	81.5	85.2	90.7	85.2	79.6	94.4	92.6	90.7	88.9	94.4	92.6	94.4	92.6

(5) 主要景況項目の概況

<表5-2> (岡山県) サービス業 (令和6年7月~9月)

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・ 増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・ 減少・悪化	(a) - (c)
売上 (収入) 額	今期	24.1	38.9	37.0	-12.9
	前期	25.9	38.9	35.2	-9.3
	今期-前期	-1.8	0.0	1.8	-3.6
	来期	22.2	61.1	16.7	5.5
	来期-今期	-1.9	22.2	-20.3	18.4
客単価	今期	18.5	66.7	14.8	3.7
	前期	18.5	66.7	14.8	3.7
	今期-前期	0.0	0.0	0.0	0.0
利用客数	今期	18.5	50.0	31.5	-13.0
	前期	22.2	51.9	25.9	-3.7
	今期-前期	-3.7	-1.9	5.6	-9.3
仕入単価 (材料等)	今期	49.1	50.9	0.0	49.1
	前期	53.7	46.3	0.0	53.7
	今期-前期	-4.6	4.6	0.0	-4.6
採算 (経常利益)	今期	11.1	68.5	20.4	-9.3
	前期	18.5	57.4	24.1	-5.6
	今期-前期	-7.4	11.1	-3.7	-3.7
	来期	7.4	75.9	16.7	-9.3
	来期-今期	-3.7	7.4	-3.7	0.0
従業員 (含臨時・パート)	今期	2.6	92.1	5.3	-2.7
	前期	2.6	92.1	5.3	-2.7
	今期-前期	0.0	0.0	0.0	0.0
外部人材 (請負・派遣)	今期	4.3	95.7	0.0	4.3
	前期	4.8	95.2	0.0	4.8
	今期-前期	-0.5	0.5	0.0	-0.5
業況 (自社)	今期	14.8	66.7	18.5	-3.7
	前期	18.5	57.4	24.1	-5.6
	今期-前期	-3.7	9.3	-5.6	1.9
	来期	11.1	74.1	14.8	-3.7
	来期-今期	-3.7	7.4	-3.7	0.0
資金繰り	今期	7.4	83.3	9.3	-1.9
	前期	9.3	79.6	11.1	-1.8
	今期-前期	-1.9	3.7	-1.8	-0.1
	来期	3.7	87.0	9.3	-5.6
	来期-今期	-3.7	3.7	0.0	-3.7